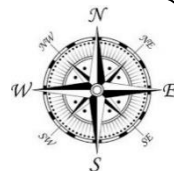


羅 針 盤



太秦中学校
進路指導部
10月20日
No.43

高校生等修学支援事業について

「高校生等修学支援事業」とは、勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金の貸与（貸付）等を行うことにより、教育の機会均等を図りもって社会の発展に寄与する人材の育成に資することを目的としています。

右の冊子を中学3年生全員に配布しました。これは京都府が行う生徒への貸与（生徒の借金）となるものです。上記にも書いてあるように勉学意欲はあるが、お金の面でなかなか用立てが困難な家庭向けのものです。2つの制度があります。

①高等学校等修学金貸与制度

生徒に京都府から貸与されるものです。

基準としては、4人世帯で保護者の年収の合計が約472万円未満の家庭が適用となります。

貸与月額としては 国公立 月18000円以内

私立 月30000円以内

さらに主たる生計維持者の年収が150万円以上の場合

修学支度金特別融資利子補給制度が使え、保護者が金融機関の融資を利用して入学一時金として

国公立 50,000円

私立 250,000円 の融資が受けられます。

また主たる生計維持者の年収が150万円未満の場合

高等学校等修学支度金貸与制度が受けられ、京都府より貸与が受けられ入学一時金として

国公立 50,000円

私立 250,000円 の融資が受けられます。

②修学支援特別融資利子補給制度

保護者が金融機関の融資を利用するもの。

融資限度額としては 国公立 648,000円

私立 1,080,000円 の融資が受けられます。

この制度では修学支度金（入学一時金）の利用はできません。

①は貸与終了から最長20年以内。無利子での返還となります。②は最長7年以内（3年以内の元金据え置き可能）元金と利子の返還となります。

これは令和6年度の予約申請であり高校生になってからでも手続きはできます。

この制度を利用される場合は担任にご相談ください。

